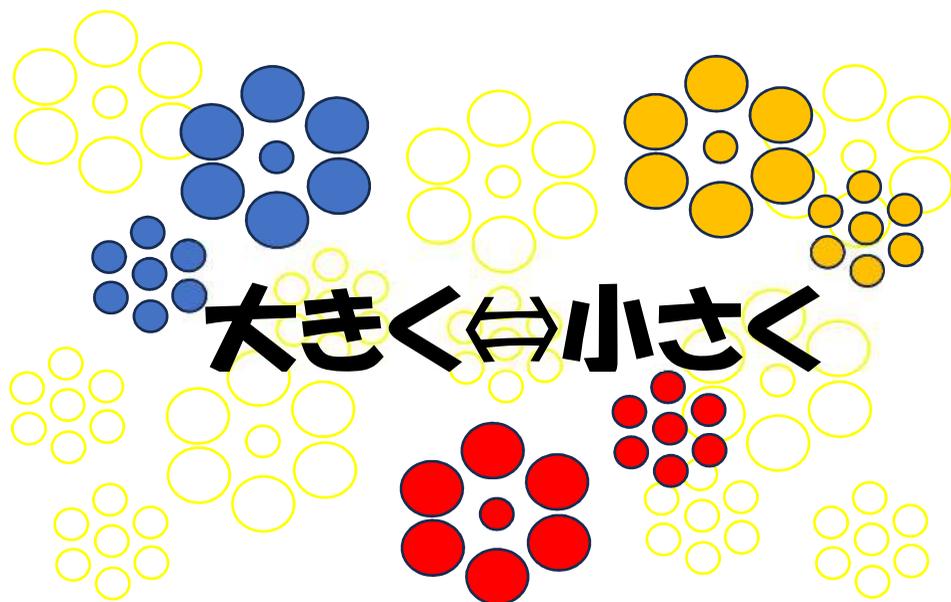


## さいたま市立中央図書館 ブックリスト

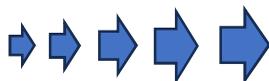


本に載っている図版や写真は、一見してわかるようにと、例えば微生物のような小さな物を拡大したり、建物のような大きな物を縮小したりしています。人は、物を適度な大きさにして見ることで理解を深めることができます。

また、砕いたり膨らませたり、大きさとともに形も変えることで、人は様々な物質を有効に利用できるようになりました。

そんな「大きさの違いや変化」に着目して、本をご紹介します。

# 大きく



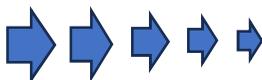
拡大・膨張・大型化…

- ・『餅と日本人 「餅正月」と「餅なし正月」の民俗文化論』  
安室知／著 吉川弘文館 2021年
- ・『EYES OF HUBBLE ハッブル宇宙望遠鏡 探究と発見の  
まなざし』  
渡部潤一／監修 岡本典明／執筆 クレヴィス 2020年
- ・『デジタル顕微鏡で楽しむ！マイクロワールド美術館』  
池田圭一／著 技術評論社 2018年
- ・『カラーアトラス 顕微鏡で見る細菌・ウイルス』  
さいたま市健康科学研究センター／編  
さいたま市健康科学研究センター 2023年
- ・『メガネの歴史』  
ジェシカ・グラスコック／著 黒木章人／訳 原書房 2022年
- ・『泡をくわお話 —ふわふわ,サクサク,もちもちの食べ物—』  
畑江敬子／著 建帛社 2017年
- ・『イギリス肉食革命 胃袋から生まれた近代』（平凡社新書）  
越智敏之／著 平凡社 2018年

## 本を大きく

弱視や老眼などの理由で、本の字が小さくて読みづらいという方のために、活字を大きくした大活字本(拡大写本)が作られています。他には、お話会など大勢で楽しめるように絵本をととても大きくした大型絵本(ビッグブック)や、実際の大きさがわかるように本の方を大きくした実物大図鑑があります。

# 小さく



縮小・縮尺・圧縮・粉碎・小型化…

・『**奇跡の地図を作った男 カナダの測量探検家デイヴィッド・トンプソン**』

下山晃／著 大修館書店 2021年

・『**デジタル社会の地図の読み方作り方**』（ちくまプリマー新書）

若林芳樹／著 筑摩書房 2022年

・『**宇宙から見た地球**』

ニコラス・チータム／著 古草秀子／訳 河出書房新社 2014年

・『**建築模型アイデア図鑑 身近な材料でつくる83の方法**』

西日本工業大学石垣充研究室＋つくりもの、九州産業大学 ABC  
建築道場＋矢作昌生／編著 学芸出版社 2021年

・『**粉**』（ものと人間の文化史）

三輪茂雄／著 法政大学出版局 2005年

・『**よくわかる粉体・粒体ができるまで**』

吉原伊知郎／著 日刊工業新聞 2022年

・『**はじめての盆栽失敗しない8つのコツ**』

山田香織／著 世界文化社 2018年

・『**データで読み解くモバイル利用トレンド 2022-2023  
モバイル社会白書**』

NTTドコモモバイル社会研究所／編 NTT出版 2022年

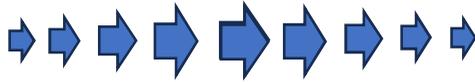
・『**見てわかる陶芸材料 保存版**』

寺田康雄／監修 『つくる陶磁郎』編集部／編 双葉社 2015年

・『**クロマトピア 一色の世界—写真で巡る色彩と顔料の  
歴史**』

デヴィッド・コールズ／著 エイドリアン・ランダー／写真  
井原恵子／訳 グラフィック社 2020年

# 大きくなったり小さくなったり



## ・『月の錯視 なぜ大きく見えるのか』

ヘレン・ロス,コーネリス・プラグ／著 東山篤規／訳 勁草書房  
2014年

## ・『イヌの博物図鑑』

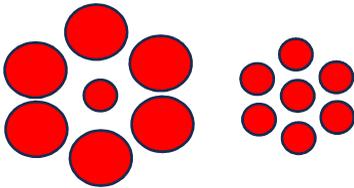
アーダーム・ミクローシ／著 小林朋則／訳 原書房 2019年

## ・『不思議の国のアリス ヴィジュアル・詳註つき』（河出文庫）

ルイス・キャロル／著 高橋康也、高橋迪／訳 河出書房新社  
2022年

## ・『ガリバー旅行記』

ジョナサン・スウィフト／著 柴田元幸／訳 朝日新聞出版  
2022年



表紙のこの模様は、エッピングハウス錯視といいます。中心の円は、左側の周りを囲んでいる円が大きい方が小さく見えますが、実はふたつは同じ大きさです。

このリストに掲載している図書は、さいたま市立図書館で所蔵しています。貸出や予約（順番待ち）ができます。

さいたま市図書館ホームページ <https://www.lib.city.saitama.jp/>

さいたま市立中央図書館 浦和区東高砂町 1 1 - 1

TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500